議会だより

ふなかた

No.201
7年/1月号

発行：山形県舟形町議会
令和7年1月24日

議長年頭によせて …… 2P
12月定例会、第3回臨時会　概要 …… 3P
議案の採決状況 ～こんなことが決まりました～ …… 6P
町政を問う　一般質問に6議員 …… 7P
舟形中学校3年生が議会を傍聴 …… 14P
議会報告会 …… 16P
議会だよりモニターの声 …… 18P
議会活動 …… 20P
えがったなぁ・町民の声・編集後記 …… 22P

表紙のことばは21Pにあります。

「年頭によせて」

舟形町議会議長　斎藤　好彦

明けましておめでとうございます
謹んで新春をお祝い申し上げます

町民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、議会運営及び議会活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新年早々に能登半島で震度7の地震が発生し、多くの犠牲者がでる大災害となりました。翌日には地震への救援物資輸送中の海上保安庁機と日本航空の旅客機が羽田空港で衝突炎上という事故があり、痛ましい新年の幕開けとなりました。降雨期に入り各地で線状降水帯による災害が発生するなか、7月25日には大雨特別警報が本町に発令され、平成30年豪雨の総雨量を超える、これまで経験したことのない大雨災害に見舞われました。

昨年は舟形町町制施行70周年の記念すべき年であり、多くの記念事業を開催することができましたが、本町にとりましては強く記憶に残る一年になってしまいました。

新年を迎え、町制施行70周年を節目とし、今後80年100年に向け新たなスタート地点にたち、議会そして議員に課せられた責務をしっかりと果たし、昨年の模擬議会の開催や中学生による議会傍聴などを通し、町民に開かれた議会をめざしてまいります。また、議員自ら独自の政策立案や政策提言を行い、議員一丸となって諸課題に取り組んでまいる所存でございますので、今後とも議会に対するご理解とご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして、穏やかで幸多き年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

議長	斎藤　好彦
副議長	佐藤　広幸
議員	八鍬　太
議員	奥山　謙三
議員	石山　和春
議員	小国　浩文
議員	伊藤　欽一
議員	荒澤　広光
議員	叶内　昌樹
議員	伊藤　廣好
事務局長	相馬　広志
事務局	沼澤　靖子

12月定例会
12月4日～6日
第3回臨時会
12月25日

一般会計補正予算10億9870万円
災害関連対策等に追加計上

令和６年７月25日からの記録的な豪雨により、甚大な被害が発生し、８月30日臨時会、９月定例会で24億７００万円の大幅な補正予算を編成しました。さらに、12月定例会においても復旧箇所の増等で追加の補正予算を計上しました。12月定例会は12月４日から６日まで３日間の日程で開かれ、一般質問では６名の議員が登壇し、町政運営や将来の展望を質しました。12月４日には、舟形中学校３年生31名が社会科の授業で一般質問を傍聴しました。

町長提出案件は、専決処分の承認案件２件、一般会計及び特別会計補正予算４件、条例の制定３件、指定管理者の指定が２件、全11議案が提出され、全て原案どおり可決しました。

補正予算　気になる中身をピックアップ！

農業用施設災害復旧事業　9億3747万円

・農業用施設災害復旧工事

農地・農業用施設の復旧箇所増および三光堰復旧に係る経費の増額

POINT
三光堰の上流域で多くの被害が発生しました。中袋地区では管理用道路、用水路の機能が損失したため、新たにヒューム管を131m新設します。

公共施設等災害復旧事業　2859万円

上空から見た河川公園の様子

・公共施設等災害復旧工事

豪雨災害で被災した河川公園の復旧に係る経費の増額

POINT
若鮎まつり会場の河川公園から一の関大橋に通じる道路が、洪水で護岸が決壊し通行不能になったため復旧します。

急傾斜地崩壊対策事業　850万円

・急傾斜地崩壊対策工事

内山地区における急傾斜地の崩壊対策に係る経費

POINT
7月25日の豪雨で崩壊した民家裏の法面を復旧します。

全議案の採決結果は６ページに掲載

質疑応答

12月定例会

保育所費

議員 保育所設置事業費について、当初予算から大幅に増額しているが、その補正内容は。

健康福祉課長 当初予算では臨時保育士の追加採用分と、町に準じた保育士の給与アップ分は見込んでおりませんでしたので、今回一般職ならびに会計年度任用職員同様に保育士分も計上したという内容です。

町営住宅修繕

議員 町営住宅管理事業の修繕料434万円の内容は。

地域整備課長 子育て支援住宅「ハイムひだまり」のエコ給湯器が15年経過し、故障したことにより3台交換し、さらに数台故障のおそれがあるので予算計上したものです。

新しくなった給湯器

教育寄附金

議員 教育寄附金200万円の内容は。

教育課長 現役時代に転勤で最上地域に勤務し、お世話になり、大変思い出深い時間を過ごすことができたということで、本人が新庄市役所に150万円を持参され、最上8市町村の子供たちのため役立ててほしいと匿名で寄附されたものです。

元気・舟形ふるさとづくり応援基金

議員 東京都ではふるさと納税の見直し議論を発信しているが、今後の影響をどう考えているか。また、米の返礼品の割合が高い中で、今年は米の値段が上がったが、影響はないのか。

ふるさと応援推進室長 総務省でどう考えていくか、注視していきます。返礼品の米の価格が上昇した分については寄附金の設定額を上げており、納税額も前年より若干増額になっております。

急傾斜地対策

議員 被災した場所はどこなのか。

地域整備課長 内山地区です。長沢のあいさつ橋から県道を約500メートル進んだ先の三叉路付近の、民家の裏になります。

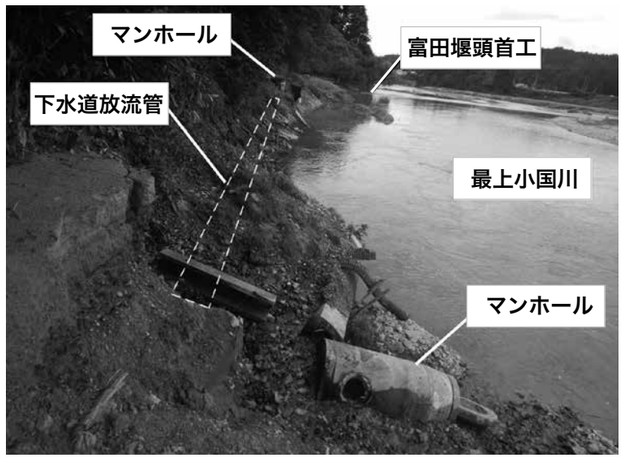
公共下水道災害復旧

議員 災害復旧として5860万を補正しているが具体的な工事箇所と工事の内容は。

地域整備課長 場所は富田堰頭首工上流の処理場の設備です。

工事請負費は処理場の曝気攪拌装置の更新が800万円、床排水ポンプ1基60万円です。

さらに放流管の復旧、小国川の土砂が堆積したことにより浚渫を行う費用として5000万円を見込んでおります。



浸食、流出した下水道の放流管

農林漁業体験実習館

議員 実習館の昨年度の利用状況は少ないようだが、今年度の取組内容と利用状況は。積極的にイベント等を企画し誘客に努めるべきでは。

ふるさと応援推進室長 今年度はまだ確定していません。

昨年度実績は1347人で令和4年度より517人増加しております。今年度は地域おこし協力隊の活動として、猿羽根山で坐禅の後にそばを食べたり、藍染体験を行いカレーを食べたりする等のイベントを行っています。今後は地域おこし協力隊と指定管理者との連携についても検討してまいります。

猿羽根山周辺で観光誘客を目的に行われた坐禅体験

温泉周辺施設

議員 利用されていないクラブハウス（テニスコート前の建物）の今後の活用方法は。

ふるさと応援推進室長 クラブハウスは現在、物品保管場所になっており、町で活用方法について管理も含めて検討する必要があると思っております。

舟形小プール工事費

議員 工事請負費4990万円の減額補正の内容は。

教育課長 舟形小プールの塗装工事の中で、劣化部分のみ塗膜除去をする予定でしたが、精査したところ、長寿命化を図るために全部の既存塗膜を撤去する内容に変更し、今年度予算を減額して、工事を来年度に延期するための減額補正です。

地域おこし協力隊

議員 現在の地域おこし協力隊員の任期は令和7年度が最終年度である。隊員は観光に特化した取組みをし、町に移住定住したいという考えがあるようだが、まちづくり課の対応は。

まちづくり課長 定住に向けて相談を受ける体制ができております。定住していただけるように相談を受けていきたいと考えております。

活用について検討課題となっているクラブハウス

第3回臨時会

三光堰復旧工事請負契約

議員 指名競争入札は何社指名で、落札率はいくらか。また工期はいつまでなのか。

地域整備課長 指名業者については町内の業者が1社、最上町の業者が1社、新庄市の業者2社です。落札金額は2億1835万円で、落札率は98・85％です。工期については令和7年3月28日までと設定しております。

議案の採決状況

令和６年 第４回定例会　議案の採決状況

○賛成　×反対　㊡欠席　㊇退席　除除斥

議案番号	議案名	1 伊藤廣好	2 叶内昌樹	3 荒澤広光	4 伊藤欽一	5 小国浩文	6 石山和春	7 奥山謙三	8 八鍬太	9 佐藤広幸	10 斎藤好彦	採決結果
承認12号	令和６年度舟形町一般会計補正予算（第６号）の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	承認
承認13号	令和６年度舟形町水道事業会計補正予算（第５号）の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	承認
議案62号	令和６年度舟形町一般会計補正予算（第７号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案63号	令和６年度舟形町介護保険特別会計事業勘定補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案64号	令和６年度舟形町水道事業会計補正予算（第６号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案65号	令和６年度舟形町下水道事業会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案66号	舟形町印鑑条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案67号	舟形町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案68号	舟形町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案69号	舟形町農林漁業体験実習館等の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決
議案70号	舟形町舟形若あゆ温泉等の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決

令和６年 第３回臨時会　議案の採決状況

議案71号	令和６年災16-118中袋（2）地区水路復旧工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＊	可決

＊ 議長は採決に加わらない。　※ 報告は採決を行わない。

◆令和６年 第４回定例会　会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前（10:00～12:00）	午後（13:00～16:00）	傍聴者数	議会中継視聴者数
12月４日（水）	本会議	・町長行政報告 **・一般質問２名**	**・一般質問４名** 各常任委員会（総務文教・産業振興）	37人	26人
12月５日（木）	本会議	・議案審議 （承認12号～13号、 議案62号～65号）	各常任委員会（総務文教・産業振興） 全員協議会	０人	10人
12月６日（金）	本会議	・議案審議（議案66号～70号） ・閉会中の所管事務調査報告 ・議員派遣の件 終了後、議会広報常任委員会		０人	13人

議会をインターネットで中継・配信しています

■定例会および臨時会の開会中は生中継しています。
■会議後１～２週間程度で録画配信をしています。過去の配信についてもご覧いただけます。

①舟形町ホームページのトップにある「町議会」をクリック

②「舟形町議会映像配信について」をクリック

③「舟形町議会映像配信（外部サイト）」へアクセスしてください。
もしくは、右記QRコードからアクセスしてご覧いただけます。

町政を問う

一般質問に６人が登壇

〈一般質問　掲載要綱〉
●一般質問本文への掲載件数は、２件以内で３件目はタイトルのみ掲載。
●本文の字数は、質問300字以内、答弁は500字以内のため、内容を要約して掲載。
★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をただすことです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。（持ち時間は議員ひとりにつき40分）

荒澤（あらさわ）　広光（ひろみつ）　議員

8ページ

★１　日本一のおいしい給食事業の継続は
　２　町内商店閉店に伴う対応策を

伊藤（いとう）　欽一（きんいち）　議員

9ページ

★１　舟形中学校移転年度を示せ
★２　災害復旧と共に防災・減災も進めよ

伊藤（いとう）　廣好（ひろよし）　議員

10ページ

★１　地域支え合い推進協議会の拡充を
★２　空き家購入補助対象者の拡大を

叶内（かなうち）　昌樹（まさき）　議員

11ページ

★１　公共交通網の今後について

奥山（おくやま）　謙三（けんぞう）　議員

12ページ

★１　耕作放棄地を出さない方策は

八鍬（やくわ）　太（ふとし）　議員

13ページ

★１　陸羽東線の早期復旧要請を強力に

←動画はこちらから

荒澤（あらさわ）　広光（ひろみつ）　議員

日本（にっぽん）一（いち）のおいしい給食事業の継続は

記憶に残る学校給食を提供する

ランチルームでのたのしい給食

質問 町の学校給食は、四季折々の地元食材、郷土料理など、郷土愛を醸成し生産者への感謝の心を育む目的で提供しています。保護者の負担を抑えて食材を準備しているが、平成30年度の材料費が341万円、令和5年度は674万円と約2倍になり、今後事業の継続が可能なのか。

町長 近年の物価上昇に対する支援を行いながら、今後においても保護者が負担する給食費をなるべく増やさず、かつ、子どもたちには当町の新鮮で安全な食材を積極的に提供し続け、「日本一のおいしい給食食育推進事業」の充実のために継続してまいります。

質問 給食費の保護者負担は小学校で1人1食あたり265円、中学校は310円を納め、食材の不足分として令和5年度は町では1食あたり約95円を補助していますが、保護者の方へ知っていただく機会も必要だと思いますが。

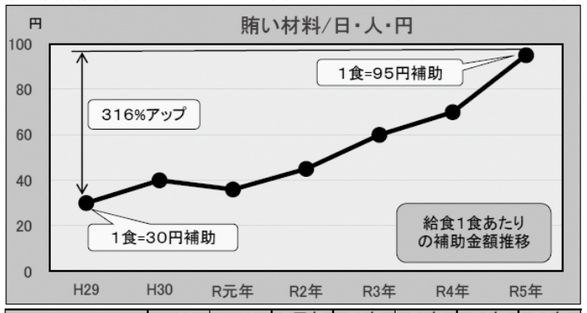
町長 周知していただくことにつきましては重要なことでもあるかと思います。今まではお知らせをしていませんでしたが、今後、何らかの形でお知らせをしてまいります。

質問 県内13市町村で給食費の完全無償化が実施されていますが、当町でも無償化または第2子以降世帯への割引等の検討も必要なのではないのか。

町長 「日本一のおいしい給食食育推進事業」については、保護者の負担軽減を目的にしている事業ではございません。子どもの学校給食の充実と、当町の豊かな食文化を知ってもらい、おいしい給食を提供するための事業です。今のところは無償化の考えはございませんが、国では、こども家庭庁創設以来、全国的な給食費の無償化がうたわれておりますので、将来無償化になり保護者負担が無くなったとしても、舟形町はさらに材料費に上乗せして、おいしい給食を提供して行く考えです。

なお、学校教育に係る保護者の負担軽減策につきましては、今後検討してまいります。

給食費保護者負担金（人/食）：小学校=265円・中学校=310円（H26年以降）



	H29	H30	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
賄い材料/食・人・円	30	40	36	45	60	70	95

動画はこちらから→

伊藤（いとう）　欽一（きんいち）　議員

舟形中学校 移転年度を示せ

供用開始は令和13年度を目標

質問 平成30年3月に、舟形中学校の移転についての質問をしました。平成28年5月の総合教育会議において移転を検討していくことを確認しているとの答弁でした。

舟形町の人口動向分析・将来人口推計など参考とされるデータも数多く出されています。平成28年から8年も経過しているので、そろそろ移転する年度を示すべきと思うが、町長に伺います。

移転目標が示された築41年になる舟形中学校

町長 この度、「舟形中学校移転新築基本構想（案）」として、当町が目指す保・小・中一貫教育方針のもと、舟形町の教育目標である「地域に育ち、地域を育てる町民の育成」を図ることができる学校施設の在り方について、まとめたところです。内容は、児童生徒数の現況及び将来推計、目指す学校施設の姿、移転先候補地の概要、移転新築に向けた業務の進行計画、中学校移転後の跡地活用等についてです。供用開始時期については、国の動向等をみながら、令和13年度を目標としています。今後、舟形中学校移転新築検討委員会を設置し検討を行っていく計画です。

災害復旧と共に防災・減災も進めよ

対策を進めるよう強く要望する

質問 7月25日に発生した豪雨により、長尾町内にある「水上沢」、「しの沢」のえん堤から流木と土砂等が流出し、家屋や農地、三光堰等に甚大な被害が出ました。またいつ災害が発生するか分りません。復旧工事と共に防災・減災も進めるよう、関係各所に強く要望すべきと思うが、町長の考えを伺います。

水上沢えん堤から流出した堆積していた大量の流木と土砂

町長 「水上沢」、「しの沢」については、平成30年災害以降、県選出国会議員、県知事、森林管理署、県庁河川課、森林整備課へ適時継続的に要望しております。直近では、11月22日に開催された「大雨災害に係る知事との意見交換会」において、再度被災防止のための対策について要望しました。人家等への被害が想定される箇所、生活や経済活動に重大な影響を及ぼす箇所については、町としてもより一層の危機感をもって迅速に対応していくとともに、関係各所へ、早急に調査し対策を進めるよう引き続き強く要望していく考えです。

←動画はこちらから

伊藤（いとう）　廣好（ひろよし）　議員

地域支え合い推進協議会の拡充を

今後も課題に応じ関係者と連携

質問 近年の高齢化で地域の支え合いは重要であり、地域支え合い推進協議会の内部に社会福祉協議会や町内の福祉事業所など関係部会を設置して、地域の課題を共有、連携する組織の拡充が必要では。

町長 地域の関係者間で支え合う支援体制の充実を図るため、平成30年度に本協議会を設置しました。高齢者に関わる課題の共有、それに対する各部門と連携を図るべく10人のメンバーで毎年開催しています。

ゲンキー介護予防教室で健康増進

質問 昨年は高齢者の移動支援について意見交換をしたとのことですが、年1回程度では深堀の議論にならないのではないか。関係部会の設置を検討してほしい。

健康福祉課長 2か月毎に法人施設の定期的会議があり、終了後意見交換をしております。社会福祉協議会に関する案件があれば、持ち帰って情報を共有しております。

質問 商店の閉店、運転免許返納などにより、高齢者が買い物に苦慮している。店に行っての買い物を希望しており、支援体制の検討を。

町長 どのような買い物支援体制がよいのか、町内会や地域運営組織の話合、方策を集約したものを町で支援していきたいと考えます。

質問 100歳体操教室が町内に多くあり、この組織を各地区に「サロン○○」として設立し、高齢者の生きがいづくりを推進すべきでは。

健康福祉課長 町内の高齢者対象のサロンは把握しておりませんが、舟形地区に「認知症カフェ」があります。

空き家購入補助対象者の拡大を

購入利活用の新たな支援制度を検討

質問 購入補助は45歳未満対象、移住者等に配慮して年齢を引き上げる考えはないか。

町長 空き家の利活用を図ることは有効な対策であります。質問の補助金は目的が子育て支援と若者定住であり、対象年齢を引き上げる改正は難しいため、「空き家の購入等利活用に資する新たな支援制度」を検討したいと考えております。

空き家バンクに登録し利活用される住宅

動画はこちらから→

叶内（かなうち）　昌樹（まさき）　議員

公共交通網の今後について

状況を整理しながら対応

質問 国道13号線の道路拡張及び山交バスの役場前停留所の進捗状況は。

町長 国道13号歩道整備事業について山形河川国道事務所に確認したところ、用地取得は約70％の進捗率で、工事着手予定については、用地取得の進捗に応じて検討中とのことでした。

停留所については、具体的な協議には至ってない状況です。

現在は仮設の山交バス停留場

質問 高齢者向けにタクシー券を配布しているが、町内のタクシー営業が18時以降に営業しないことで、新庄タクシー等でも利用できないのか。

町長 タクシー券の配布は当町の他に戸沢村のみです。戸沢村では、新庄タクシーでも利用できることとしておりますが、町の状況を整理しながら対応を検討してまいりたいと考えます。

質問 北海道の小清水町では、9月から町民によるマイカーを地域の足にとした「こしタク」と言う試験的サービスが始まりました。11月には、尾花沢タクシーが県内初のライドシェアを導入しており、舟形町でも地域住民が地域交通を守るようなライドシェア登録は出来ないものか。

町長 「町内タクシー事業者と、ライドシェアへの取り組みについて考えを整理し、山形運輸支局など関係機関からもアドバイスをいただきながら検討してまいります。

県内初となるUberアプリを活用した「Uber Taxi」と「日本版ライドシェア」（尾花沢タクシー）

←動画はこちらから

奥山（おくやま）　謙三（けんぞう）　議員

耕作放棄地を出さない方策は

農地の維持保全を推進

耕畜連携による農地の有効活用
（福寿野地内）

質問　今般、農林水産省が示した試算によると、２０３０年の国全体の耕地面積は２０２０年比で35％減、２０３０年の農業者数は54万経営体で、２０２０年比で54万経営体の減、率で50％減であり、私自身も大きなショックを受けています。町の基幹産業である農業、その土台となる農地の維持、保全が重要と考えます。耕作放棄地を出さないための方策をお聞きします。

町長　同試算は、規模拡大や生産性向上を考慮していません。当町の２０２０年の米の生産者数は３３６人、２０２４年では２６８人と、４年間で20.2％減少、１年当たり約５％減少しており、６年後の２０３０年には試算通り50％減少しかねない状況です。一方で、１農家あたりの作付面積は、２０２０年の2.8haが、２０２４年では3.2haと、４年間で13.9％増加し、経営規模の拡大が進んでいるため、農業者が減少しても、耕作面積は試算ほど減少しないと考えています。

また、耕作放棄地を出さないための方策で、最も効果が高いのは圃場整備事業です。現在当町では、５地区２５９haを県営事業で整備中です。そのほか、農地の保全を目的とする多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金活用が有効で、今年度の事業実施面積は１１０１haとなり、当町の田の面積１３３０haの82.8％を占めています。

今後も両事業を活用して、農地の維持保全を推進したいと考えています。

質問　町では耕作放棄地、遊休農地、荒廃農地の面積は把握しているのか。

農業振興課長　毎年遊休農地の調査を実施し、今年４月時点では17haです。

質問　地域計画策定の第１回の話し合いが４地区で開催されたが、全担い手に占める参加人数の割合は。

農業振興課長　参加人数は34人で割合は26.3％です。

質問　第２回の地域計画の話し合いを進めるためには、より多くの耕作者、地権者から参加して貰う事が重要と思うが、町の考えは。

農業振興課長　農地の集約化についてしっかり話し合いを進めるためには、多くの参加者が必要です。広報お知らせ版や防災無線、認定農業者協議会を活用しながら参加を呼びかけたいと考えています。

圃場整備により、大区画された見事な農地（三光堰西3期）

動画はこちらから→

八鍬（やくわ）　太（ふとし）　議員

陸羽東線の早期復旧要請を強力に

運転再開への必要性を感じる

質問　７月25日、山形県北部地方を襲った豪雨により、道路や鉄路も通行止めや運休が発生し、利用者は通勤、通学等の移動において不便な日常を送っています。

ＪＲ陸羽東線も甚大な被害を受け、復旧の見通しすら示されていない状態です。

バス代行では不便を強いられ、自家用車での送迎等、家族の負担も増しています。

陸羽東線はＪＲ東日本の中でも輸送密度が低い赤字路線であることから、ＪＲ側は被災を契機に復旧を目指さず廃線や沿線自治体の大きな負担を求める動きが懸念されています。まさに存続の危機に直面している今、早期の復旧を強力に訴えるべきと考えますが、町長の考えを伺います。

第８回最上小国川写真コンテスト優秀賞作品

町長　７月25日の豪雨により被害を受けたＪＲ陸羽東線については、県及び最上地域８市町村を含む沿線市町村や商工会、観光協会などの関係団体で構成されている「陸羽東西線利用推進協議会」において令和７年１月にＪＲ東日本東北本部に早期復旧工事への着手と、運転再開についての要望書の提出が予定されております。その他、市民団体による署名活動も展開され11月22日に、ＪＲ東日本東北本部に提出し、早期復旧と、運転再開の要望を行ってきたことを確認しております。

陸羽東線については、当町内に東長沢、長沢駅の２つの駅を有しており、通勤、通学をはじめ生活に関わる移動手段の１つであります。

当町としても、１日も早い復旧工事への着手と、運転再開への必要性を感じております。先に被災した米坂線の現在の状況を見ますと、ＪＲ側からは復旧後の管理や運営について、色々なパターンでの提案と共に、県を含め沿線市町村に大きな負担や条件を求めているようですが、廃線にしてはならないと思っております。

今後も沿線自治体及び関係団体とともに要望を行ってまいりたいと考えます。

紫山地内を走るSLゆけむり号（2008年撮影）

舟形中学校３年生が　12月定例会を傍聴

12月４日、舟形中学校３年生31名が社会科学習の一環として12月定例会傍聴のため来場しました。
当日は一般質問が行われ、議員と町長をはじめとする執行部とのやり取りを傍聴しました。
傍聴後、アンケートにご協力いただき、議会を傍聴した感想を聞きました。

議員へ

・舟形町について細かいところまで話し合っていてすごいと思いました。質疑でも、具体的な事例やデータを使って、分かりやすく質問していて分かりやすかったです。
・小中学校のことを考えて舟形町全体のことを考えていて本当により良くしようとしていてすごいと思いました。
・舟形町のことについて丁寧に話し合ってくれていることを知って感謝の気持ちでいっぱいです。
・質問する側もされる側も、考えだけでなく、実際のデータを用いていて説得力がありました。
・町長さんや課長さんの説明に対し、細かな点まで確認したり、意見を述べたりしていてすごいと思った。「より良い町をつくっていく」という意思がとても伝わった。

議会全体へ

・私たちのような子どもの未来を本当によく考え、議論していて、「ありがたい」と思った。
・自分たちが普段食べている給食などには、あのような話し合いがされているということが知れた。
・議長の話の進め方が上手いと思いました。聞き取りやすい話し方など学ぶことが多くあり良い機会になった。
・私達に分かりやすいよう用語の説明を挟んでくれたり、良く見えるようにしていただきありがとうございます。
・舟形町にある学校についての話が２つほど出ていました。私たちが普段過ごしている学校の中にも課題があり、それを解決するため町全体が協力しているのが感じられました。

町議会は遠い存在だと感じていましたが、傍聴を通じて身近に感じ興味が湧きました

照井　凛（りん）さん

町民の思いに寄り添いながら質疑応答していて、議員の方々は、自分たちのために働いてくださっているということを感じました。
町議会は自分には遠い存在だと感じていましたが、今回傍聴して、中学校に関すること、災害での被害を減らすことなど、他人事にできない身近な議論がされていて興味が湧きました。
今回は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。これからも議員としての活動、頑張ってください！

沼澤　大翔（ひろと）さん

自分達の町をより良くしようと みんな真剣に話し合っていました

学校の事、地域の災害復旧、課題について、自分達の考えを述べていて、すごいと思いました。
自分達の町について、より良くしようと様々な考えを述べていて、舟形町はこうして成り立っていると思いました。
舟形町の事についてみんな真剣に話し合い、より良くしていこうとする姿に感激を受けました。

その他

・何も考えず食べたり行ったりしていたイベントや給食も裏では様々な話し合いや課題があることを学んだ。
・議会で一つ一つのことを確認して、いろいろな仕組みができていて見ていて面白かったです。
・本日は、こんな貴重な体験をさせていただきありがとうございました。町の事を知れて良かったです。
・議会の皆さんが町民を第一に考えていることが伝わってきました。この度は議会を傍聴させていただきありがとうございました。
・大人になって親になったら子供を連れて議会傍聴に連れていきたいと思いました。

議会傍聴のようす

アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見ご感想は、今後の議会活動に活かしてまいります。

第１５回議会報告会

11月11日～12日に議会報告会を開催し、各会場でいただいた質問や意見、要望事項を検討し、回答書を作成しました。主な質問と回答は次のとおりです。（回答書より抜粋）

質問　県道の消雪設備の機能が不完全である、機械除雪にしたほうが良いのでは。

回答　県では新たに消雪設備の更新は行わないとの考えのようです。住民の皆様の総意で機械除雪への変更を希望される場合は、町ではその旨を県に要望します。（議会）

質問　町内の引きこもり者への支援の内容は。引きこもりについて相談があった場合は、どこに繋いでいけば良いのか。

回答　引きこもり相談の窓口は、健康福祉課福祉係となっております。町では、相談があった場合、最上保健所などの県の相談機関と連携し支援にあたります。（健康福祉課）

質問　河川公園アユパークは何故キャンプ禁止なのか。

回答　大雨により最上小国川が増水したときに、公園に浸水するため安全を担保できず、危険を回避するための措置として禁止にしています。（議会）

西堀公民館

長者原公民館

質問　長者原地区内にある、最上小国川への消防道路が７月の豪雨で決壊した。火災が発生した場合は町内には水利が少ないので早期に復旧をお願いしたいが、今後の対応は。工事着工及び復旧はいつ頃になるのか。

回答　現時点では未定です。
　河川護岸の復旧工事で、最初に工事用道路として復旧することが想定されます。
（地域整備課）

質問　この度の模擬議会の開催、商工業の方々等各種団体等の座談会は将来の議員養成の面から評価したい。

回答　模擬議員の方からは、良い機会だった、また機会があれば参加したいという声をいただいています。
　今年度、事前に若者とワークショップ形式で意見交換会を実施し、それをふまえて模擬議会を実施しました。参加者からはワークショップが好評で、来年度も機会があれば参加したいという声もいただきました。女性議員のなり手意識醸成を目的に女性の方々との意見交換会を行い、模擬議会では８名中３名が女性で、議員活動に関心を持っていただけたのではと思っています。
（議会）

質問　隣組10世帯中、後継者いる世帯は３世帯と、少子高齢化が深刻化している。デマンド型乗合タクシーがあるが、融通の利く移動手段、買い物支援など課題は多い。以前富田には便利屋さんがいて、いろいろなものを調達していた。移動販売はないのか。

回答　買い物支援については、町内でも一部地域で移動販売車による販売が行われていますが、販売場所など課題も多くあります。
（議会）

質問　あゆ釣り客を対象にして、猿羽根山農林漁業体験実習館に一般の方も宿泊することはできないのか。

回答　３名以上の方であれば宿泊は可能ですが、１人単位では施設の体制、経費の面で現在は対応をしていません。（議会）

質問　町内の児童生徒数が減少し、舟形中学校野球部は最上町との合同チームになってしまった。今後、最上・新庄の学区合併もありうると思うので気がかりだ。舟形小学校校舎を少・中一貫校として活用する可能性はあるのか。

回答　町では中学校を小学校の近くに、との構想は以前からありましたが、進んでいない状況です。小学校の校舎に中学校が入る場合、設置基準があり、そのままの利用はできないと考えています。（議会）

内山公民館

堀内公民館

質問　災害の補正予算はどうなっているのか。農地復旧の見通しやがれきの処理については各自処分となるのか。

回答　補正予算については、令和６年８月30日の臨時議会において、22億円超の補正予算を議決しました。農地復旧の地区の見通しについては、後ほど連絡します。がれき処理については、一時保管してもらい、今後町で回収するとのことです。（議会）

質問　被害について地域整備課に問い合わせや情報提供をした際に、「町ではなく県の管轄だ。県のほうで見ていると思う。」と言われてしまった。町民はどこが県なのか、国なのかわからない。受け答えを統一してほしい。町のことは町に言えばいいのかなという思いがあった。

回答　対応が悪く申し訳ありませんでした。
　情報提供いただけることは、町としてもありがたいことです。
　お気づきの点など、町へご一報いただければ、町でお答えできることはお答えし、国や県など所管事務所へお伝えすることはお伝えしますので、今後とも情報提供等よろしくお願いします。（地域強靱化対策室）

質問　東北農林専門職大のアパート整備をしているが、満室なのか。学生の夕食先やアルバイト先はどうなっているのか。

回答　２棟目の新規分も予約満室と聞いています。夕食はファミリーマートやニコットで調達しているようです。アルバイト先は農家や飲食店、施設等で雇用していただいているようです。（議会）

貴重な意見ありがとうございます。

議会だよりモニターの声

今回は議会だより200号（10月25日発行）に寄せられた意見や感想を掲載しています。
いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

◆表紙について

・豪雨での凄まじさが怖いくらい伝わってくる写真です。
・災害の実状を伝えるため良いと思うが、表紙なのでもう少し見やすくインパクトがあった方がいいかと思った。
・今回の災害がどれだけの惨事だったかみなさんに伝わる写真でした。
・７月25日に舟形町を襲った豪雨の甚大さが伺える。舟形町全域に被害があったことが分かる。
・自然災害の恐ろしさを改めて感じさせられました。
写真の場所が地図などと一緒に記載されていると分かりやすいと思いました。
・表紙を見て、災害の大変さがわかった。

◆第２回臨時会、定例会概要、質疑応答について（２～７ページ）

・町民が納得出来る予算の使い方であれば評価出来ると思う。
・見出しページは特に見やすく POINT解説もわかりやすくて良いと思う。
・災害復旧は早期発見、対応、人命を守る事で復旧に対しての財源は使用して頂きたい。
人間ドックを節目で行った際に舟形町の助成金は素晴らしいと言って頂きました。補助金の出る市町村で舟形町は一番との事で継続をお願いしたいのとみなさんも活用し元気で長生きの町になるといいと思う。
・補正予算が豪雨災害の影響により増額となり、町の公助に助けられている実感が湧く。
農地災害復旧に多くの農家が助けられている。
・富田排水機場について「冠水し72時間以内に排水できる設定」との事だが、冠水しないように運用することはできないのか。
・国からの予算を見て、いかに被害がひどかったかわかる。

◆採決状況について（８ページ）

・反対意見があっても、納得がいく説明をしての可決だったのかなと思った。
・賛成、反対それぞれの意見が見られるのは良かった。
・問題なし
・反対意見と賛成意見が出て、活発な議会運営になっており、すばらしいと思います。
・採決状況だけでなく賛成・反対の方の意見が記載されていて良いと思いました。
傍聴者や中継視聴者からの声も聞けるとよいと思います。
・議員さんの思っていることがわかった。

モニターさんのご意見にお答えします

Ｑ１．Ｂ＆Ｇ海洋センターの今後の予定のところで、舟形中学校の移転とあったが時期と移転場所は決まっているのでしょうか？

Ａ１．中学校の移転については令和13年度を開校目標にし、舟形中学校移転新築検討委員会を設置して検討を行っていく計画です。場所は舟形小学校のあるハリヨ地区に計画予定です。

◆一般質問について（９～19ページ）

・模擬議会で一町民が町長さんと質疑ができるという良い機会だったと思う。
・模擬議員のみなさんお疲れ様でした。
・これからうちの子の世代では少子化で部活の合併が進んでいます。他市町村に平日保護者が送迎、休日試合など保護者負担がかなり多くなって来ているのが現状です。仕事をして部活の送迎、それから食事の準備など子どもとゆっくり話しも出来ない…持続可能な体制を早期に願う。
・また同じような災害に襲われても、被害を最小限に抑えられるような、町土の災害対策や強靭化をお願いします。
又、模擬議会により若者の議会への関心も高まると思います。
・一般質問の様子をQRコードから動画で（はずかしながら）初めて視聴しました。紙面に載せきれない内容も知れて良かったです。豪雨災害のため延期になった模擬議会の開催とても良いと思います。
継続することで議会への関心も深まると思います。
・写真がついていて分かりやすい。

◆議会活動について（22～23ページ）

・より良い舟形町になる様に頑張って貰いたいです。
・お忙しいとは思いますが今後もよろしくお願いします。
・問題なし
・議員のみなさんの活動で、縄文の女神を舟形に戻せるように頑張っていただいてる様子がわかります。

Q1. B&G海洋センターの今後の予定のところで、舟形中学校の移転とあったが時期と移転場所は決まっているのでしょうか？

・忙しくて議員さん大丈夫かなあと思う。

◆えがったなぁ、町民の声、編集後記について（24ページ）

・写真のような可愛い子たちが沢山増える様に町づくりを頑張って欲しい。
・子育てに一生懸命の親御さん、町内で活躍する職人さんの声が届きますように。
・えがったなぁの若い方の意見も吸い上げてもらい住みやすい町、長く住みたい町になってもらいたい。
・(町民の声について)様々な業種で働く人の意見を取り入れ、より良い舟形になる良いコーナーだと思う。
・赤ちゃんの写真はいつも癒されて良いですね。
・町民の声を町や議会の運営に反映させてほしいと思います。
・タイトルが良い。赤ちゃんかわいい。

◆議会・町に対する意見等、その他

・町民目線で過ごしやすい町になる様に頑張って欲しい。
・若鮎まつり今年も盛大に行われ人流もあり良かったと思います。そこで各地区、施設で花火をしておりますがあれだけの人流があれば舟形町でも祭りの時に盛大に花火をあげれば、町のPR、財源、活気ある町になるのではないでしょうか？現状もったいないと思います。川もあり、打ち上げるには最高のロケーションだと思いますが…。
・なるべく早期に災害前の生活に戻れるようにお願いしたいです。
・議会だよりに地区名（河川等）が出てくるが、聞きなれない名称も多いので地図なども記載すると多くの町民が分かりやすくなると思います。
・舟形町の自然はそのままで、でもスーパーがあると良いと思う。

産業振興常任委員会　所管事務調査

主要事業の進捗状況を確認

1．期　　日：令和６年11月19日（火）
2．調査内容：令和6年度所管各課の主要事業の進捗状況
○まちづくり課
（1）舟形町総合発展計画策定事業
①４月１日に後期短期アクションプラン策定委員会を設置した（委員20名）
（2）住民主体の地域づくり事業
①地域運営組織の活動経過、設立支援状況報告
（3）「次期各地区びじょん」作成事業
①各地区で視察やワークショップを行いながら、地区の取組みを検討中
（4）公共交通事業（デマンド型乗合タクシー）
①直近までの予約システム利用状況、利用者数の実績推移の報告
○農業振興課
（1）鳥獣被害対策事業
①今年度の農作物被害状況
②鳥獣被害防止総合対策交付金（国）及び山形県鳥獣被害対策推進事業等の活用状況の説明
（2）「産直まんさく」の運営状況
①オープンから5か月経過し来客数は16,826人
②売り上げ実績2,092万円、月平均418万円（月目標420万円）、③売り上げ増に繋げるために各種イベントの開催、キャッシュレス決済の導入、SNSを立ち上げ情報発信の強化等を実施した
3．所　感
（1）まちづくり課
①デマンド型乗合タクシーについては、買い物等のための利便性向上が必要である。
（2）農業振興課
①鳥獣被害対策実施隊が減少する中、報酬を含め待遇の見直しが必要である。
②産直まんさくは、冬季間地元野菜等の減少が想定される中、会員各位の努力と更なるイベントなどのＰＲを行い集客に努めることが必要である。

産業振興常任委員会　行政視察

先進地の現状を確認

1．期　　日：令和６年12月13日（金）
2．目　　的：
（1）地域運営組織及び６次産業化の取り組み（庄内町）
（2）地域おこし協力隊の受け入れ態勢と活動内容（遊佐町）
3．視察場所
（1）立谷沢まちづくりセンター（庄内町）
（2）遊佐町役場
現地視察概要
（1）立谷沢まちづくりセンター
①立谷沢地区地域運営組織を立ち上げるに至った経緯
②指定管理者制度を導入した経緯・町側のメリットについて
③地域運営組織に町として期待する事、将来像について
（2）立谷沢地域活性化センター「タチラボ」
①リノベーションで６次産業化の拠点整備、地域おこし協力隊が地域住民とコラボレーションし、地場産の素材を使った商品開発に向け、試作・研究を行っている事例の説明。
②施設の内容紹介
つくる▶６次産業化共同利用加工場【旧保育園１階を整備】
暮らす▶定住促進住居【旧保育園2階、旧駐在所を整備】
語らう▶会議室（大、小）【旧保育園１階を整備】
③施設整備の概算事業費の説明
（2）遊佐町役場
○ 地域おこし協力隊の受け入れ体制について
①雇用形態について
ア、任用形態は委嘱のみとなっている（雇用契約なし）
イ、住居は町で借り上げ費用負担、暖房灯油代は月額5,000円以内の実費を補填
ウ、車は１台貸与（町でリース）、ガソリン代は月額20,000円以内の実費を補填
②活動内容について
③活動への町の関わり方について
ア、業務は所管する係と一緒に進める
イ、業務に必要な費用は（活動費）全て町の予算に計上
ウ、協力隊の生活全般のフォローアップは担当課、係が行う
④任期満了後の定住状況について
ア、チャレンジ遊佐定着支援金、最長２年間支給（月額８～10万円）
イ、起業等支援補助金（起業のための資金100万円補助）
4．所　感
（1）立谷沢まちづくりセンター
庄内町では平成19年から指定管理者制度導入によるガイドラインを制定し、令和３年に公民館のコミュニティセンター移行基本方針がが策定され、令和５年10月に地域運営組織が設立された。
また施設内の加工設備に関しては、町で整備を行い地域住民が、地域の素材を使った加工品を製造販売している。
当町においては、遊休の加工施設を有効活用し地元素材を使って、商品を開発することができないか、参考にして模索する必要がある。
（2）遊佐町役場
令和６年12月現在８名の隊員が活動を行い２名が委嘱準備中、さらに５名を募集している。退任済み協力隊21名中、10名が町内に在住しており遊佐町は協力隊に対して身分、財政支援、福利厚生が整っている。
当町においても支援体制や福利厚生について課題を検証し、参考にする必要がある。

県町村議会議員研修会
（令和６年10月25日）

山形国際交流プラザ山形ビッグウイングにおいて、弁護士の太田雅幸氏より「議会が守るべき政治倫理、ハラスメント防止と議会の取り組み」、また、一般社団法人地方公共団体政策支援機構上席研究員の長内紳悟氏より「議事機関としての質疑・質問とは」と題した講義をしていただきました。
議員としての識見を広め、質の高い質疑・質問をするための手法・考え方を学ぶことができました。
このたびの研修をこれからの議会活動に活かしてまいります。

議会のうごき

▼**10月**
10日　議会広報常任委員会
16日　議会運営委員会
第16回議会改革特別委員会
17日　議会広報常任委員会
25日　町村議会議員研修会（山形市）
27日　町制施行70周年記念式典
31日　第23回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会（新庄市）

▼**11月**
2日　町制施行70周年記念 第32回舟形町東京友の会総会（東京都）
11日～12日　議会報告会
13日　第68回町村議会議長会全国大会（東京都）
15日～16日　令和６年度最上地域ふるさと連合会総会（東京都）
19日　産業振興常任委員会
20日　議会運営委員会
27日　議会運営委員会

▼**12月**
2日　全員協議会
4日　12月定例会（～6日）
6日　議会広報常任委員会
9日　中央要望会（東京都 衆議院・参議院議員会館）
11日　教育懇談会
13日　産業振興常任委員会行政視察（庄内町・遊佐町）
18日　議会広報常任委員会
25日　第３回臨時会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

表紙のことば

舟形町ではわら細工工芸愛好会が昭和61年から始まり、現在は長沢生涯学習センター内で週１回教室を開いています。講師として、97歳の八鍬朝吉さんと、他２名の方がわら細工の技術を教えており、12月にはしめ飾りの製作をしました。町内からの参加だけでなく、遠くは横浜市や仙台市、県内では天童市、朝日町など、インターネットの情報で教室を知り、参加しているようです。
今後も舟形町の宝であるわら細工の技術の伝承を続けていっていただきたいと思います。
（小国　浩文　撮影・記）

議会だより ふながた の表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■**応募方法**：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■**問 合 せ**：舟形町議会事務局 32-0030
gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は３月上旬に開催される予定です。

シリーズ 赤ちゃんうまれて えがったなぁ

今回は、舟形第3の
大場（おおば） 雄介（ゆうすけ）さん・美希（みき）さんの
お子さんの悠翔（ゆうと）くん（4才）と、
美澪（みれい）ちゃん（4ヶ月）です。
皆さんよろしくお願いします。

♥名前の由来は何ですか？

悠翔（ゆうと）と３人で「みれい」という綺麗な響きが気に入り、心の澄んだ優しく美しい人になってほしいという願いを込めて、この名前にしました。

♥舟形町での育児はどうですか？

子供たちが自然豊かな環境でのびのびと遊べていて、とても良いなと思います。また、保健師さんや支援センターの先生、地域の方々がみんな優しくて、気軽に声をかけてくださるので、安心して子育てができています。

♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

・子育て支援が充実していて助かっています。
・雪を捨てる場所がないので、流雪溝を作ってほしいです。

♥舟形町に望むことはありますか？

子供たちが思いっきり体を動かして遊べる室内施設を作ってほしいです。あとは、ドラッグストアや小児科があれば、とても助かります。

【お願い】「えがったなぁ」に出てみませんか。
舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなぁ」に出てみたい方を募集します。
（連絡先）舟形町議会事務局 ☎32−0030

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見やご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしています。

私は堀内地区で暮らしている子供二人の母親です。子供達は、小学校低学年からスポ少に入り、中学校では部活をして、スポーツを続けています。体を動かすことで体力がつき、チームの仲間と協力し合う大切さを学び、体だけでなく、心の成長にも繋がっているように感じます。

子供の9歳から12歳までの時期を「ゴールデンエイジ」といい、この時期に運動経験を積むことで飛躍的に運動能力が向上すると言われています。子供達にとっては楽しんで運動ができる環境づくりが大切です。

最近では、子供の体力低下が問題視されています。原因は、ゲーム・スマートフォンなどによる映像の視聴時間の増加、少子化が進み外遊びの仲間になる身近な子供の減少、地域において子供の発達に応じた運動の指導方法を十分に心得ている指導者がいない事なのではないでしょうか。子供達が元気で健やかに過ごせる舟形町であるよう願います。

齊藤（さいとう） 文美（ふみ） さん
（堀内）

（議会より）
部活動や指導者による体制について議会としてもしっかり注視してまいります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、穏やかな新年をお迎えのことお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、能登半島地震、能登半島での豪雨により大変悲惨な状況を見聞きしましたが、町でも7月の豪雨で甚大な被害が発生し、9月議会で約22億円、12月議会でも約11億円の補正予算が可決し、災害復旧、復興に努めております。

自然災害への備えの重要さを認識させられました。

本年は自然災害の無い穏やかな年になり、町民の皆さまにとりましても幸多き1年になりますようにご祈念申し上げます。（荒澤 広光 記）

発行責任者
議長 斎藤 好彦
議会広報常任委員会
委員長 荒澤 広光
副委員長 小国 浩文
委員 伊藤 欽一
委員 叶内 昌樹
委員 伊藤 廣好

●発行 舟形町議会
●編集 議会広報常任委員会
〒999-4601 山形県最上郡舟形町舟形263番地
電話(0233)32-2111(代表)